

富里特別支援学校の実践について

新学習指導要領が公示になったことを受けて、一早く昨年度から学校の研究テーマを3年計画で「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」とされました。

学習指導要領の改訂の趣旨について、職員間で十分な研修を重ね、「主体的・対話的で深い学び」「育成を目指す資質・能力」「学部ごとに付けたい力」を押さえた上で、授業改善に取り組まれました。特に、学習評価に「育成を目指す資質・能力」、「学力の3要素」を取り入れ、指導案等の様式を見直すことから授業改善をされました。

そして、最大の成果は、「富里特別支援学校版カリキュラム・マネジメントシート（試案）」の作成です。「社会に開かれた教育課程」を実現すべく、「カリキュラム・マネジメント」の在り方について研究に取り組み、試案として出来上がりました。今後、この試案を活用することで、子供たちが「なぜ、なんのために」「何を」「どのように学ぶのか」という主体的な学びが充実することと、学校が「社会に開かれた教育課程」として、広く地域に発信し、子供たちのために授業改善の充実を進め、地域とともに教育活動が展開できることを期待しております。